

2005年11月10日

2005年9月中間期 決算説明会

- 2005年9月中間期 業績の概況
- 経営方針への取組み
- 主要製品、主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

2005年9月中間期 決算概観（連結）

売上面では、国内新薬医療用医薬品はキプレス等呼吸器領域の製品が堅調に推移し261億円（前年比10.1%増）となり、海外新薬医療用医薬品は主要製品のバルク輸出が前年を下回り40億円（前年比21.8%減）となりました。関連事業では当中間期より東洋ファルマー社を連結対象（2ヶ月間）とし、その結果連結売上高は335億円（前年比7.9%増）となりました。利益面では、売上原価率が前年比2.2ポイント改善したこともあり、当中間営業利益は24億円（前年比50.8%増）、当中間純利益は15億円（前年比11.6%増）となりました。

（ご参考）単体：売上高316億円（前年比3.9%増）、営業利益22億円（前年比39.8%増）、当中間純利益12億円（前年比5.7%増）

通期連結業績予想は、国内新薬医療用医薬品が順調に推移すると予想します。また、東洋ファルマー社及びドクタープログラム社を連結対象とすることから、連結売上高722億円（前年比8.9%増）を見込みます。利益面は、前年に対し研究開発費は減少するものの販売費等の増加が見込まれ、連結営業利益66億円（前年比12.5%増）、連結当期純利益37億円（前年比83.8%増）を予想しております。

単位： （百万円）	02年9月期	03年9月期	04年9月期	05年9月期	前年比	連単倍率	06年3月期 （見込み）	前年比
売上高	31,878	30,831	31,056	33,511	7.9%	1.06	72,200	8.9%
営業利益	4,806	3,387	1,595	2,406	50.8%	1.08	6,600	12.5%
経常利益	4,904	3,336	1,974	2,753	39.4%	1.16	7,200	12.0%
中間純利益	1,555	4,643	1,307	1,459	11.6%	1.24	3,700	83.8%
EPS	18.05円	53.93円	17.59円	19.65円	—	1.24	49.82円	—
総資産	135,017	138,980	118,558	116,566	▲1.7%	1.09	—	—
株主資本	103,228	109,504	91,460	91,483	0.0%	1.02	—	—

※2001年11月20日付けをもって額面普通株式1株を1.5株に分割

2005年9月中間期 業績の状況(連結)

単位:億円

	04年 9月期 (実績)	05年 9月期 (実績)	増減
売上高	311	335	+24
国内新薬医療用	237	261	+24
海外新薬医療用	52	40	▲12
ヘルスケア他	16	15	▲1
関連事業等	6	19	+13
営業利益	16	24	+8
経常利益	20	28	+8
中間純利益	13	15	+2

■ 売上高 335億円
● 国内新薬医療用 261億円

	04.9実績	05.9実績	
・キプレス	52	→ 61	(+9)
・ムコダイン	77	→ 85	(+8)
・ペンタサ	31	→ 36	(+5)

● 海外新薬医療用 40億円 (▲12) (▲13) (▲13)

・ガチフロ 48 → 35
* アラガン社点眼剤「サイマー」堅調、テクインバルクの輸出減

● ヘルスケア他 15億円 (▲1)

・ミルトン 12 → 11 (▲1)

● 関連事業等 19億円 (+13)

・東洋ファルマー社(6~7月;2ヶ月間) (+11)

◆ 原価率:前年比 2.2ポイント改善(36.4%→34.2%)

【改善要因】野木工場の稼働率アップ

◆ 研究開発費率:前年比 1.3ポイント低下(19.2%→17.9%)

【R&D費】04年度60億円→05年度60億円(前年比横ばい)
キプレスアレルギー性鼻炎(効能追加)を前倒し申請したため
当初予想を上回った

◆ 販管費率(除R&D):前年比 1.5ポイント上昇(39.2%→40.7%)

【R&D除販管費】04年度122億円→05年度137億円
* 国内医療用医薬品売上増加に伴う販売費の増加及び
一般経費等の増加

■ 営業利益 24億円 (+8) (+2)

* 営業利益率は7.2%と2.1ポイント上昇

■ 中間純利益 15億円 (+2) (+4)

■ 配当 10円00銭

2006年3月期 業績の見込み(連結)

単位:億円

	05年 3月期 (実績)	06年 3月期 (見込み)	増減
売上高	663	722	+59
国内新薬医療用	528	545	+17
海外新薬医療用	88	78	▲10
ヘルスケア他	33	32	▲1
関連事業等	14	67	+53
営業利益	59	66	+7
経常利益	64	72	+8
当期純利益	20	37	+17

■ 売上高 722億円
● 国内新薬医療用 545億円

05.3実績 06.3見込み

・キプレス 118 → 131 (+13)
 ・ムコダイン 190 → 192 (+2)
 ・ガチフロ 23 → 26 (+3)
 ・ペンタサ 64 → 71 (+7)
 ・ケタスほか主要製品 (▲6)

● 海外新薬医療用 78億円

・ガチフロキサシン 80 → 69 (▲11)
 * テクインのバルク輸出が前年を下回る

● ヘルスケア他 32億円

・ミルトン 23 → 22 (▲1)

● 関連事業等 67億円

・東洋ファルマーの子会社化(決算期変更;8ヶ月間含む)
 ・ドクタープログラムの子会社化(決算期変更;7ヶ月間含む)

◆ 原価率…2~3ポイント上昇

【上昇要因】東洋ファルマーの連結

◆ 研究開発費率…19.2%→14.3%;4.9ポイント低下 (▲24) (▲1)

【R&D費】127億円→103億円(約24億円減)

◆ 販管費率(除R&D費)…約2ポイント上昇

【増加要因】国内売上増加に伴う販売費の増加及び
 一般経費の増加を見込む。

東洋ファルマー、ドクタープログラムの連結子会社化

■ 営業利益 66億円

* 営業利益率:9.1%と0.3ポイント上昇

■ 当期純利益 37億円

■ 配当 20円00銭(期首予想通り)

対前年
(+59)
(+17)

対見込
(+12)
(+7)

(▲10) (▲3)

(▲1) (▲3)

(+53) (+5)

(▲24) (▲1)

(+7) (+8)

(+17) (+4)

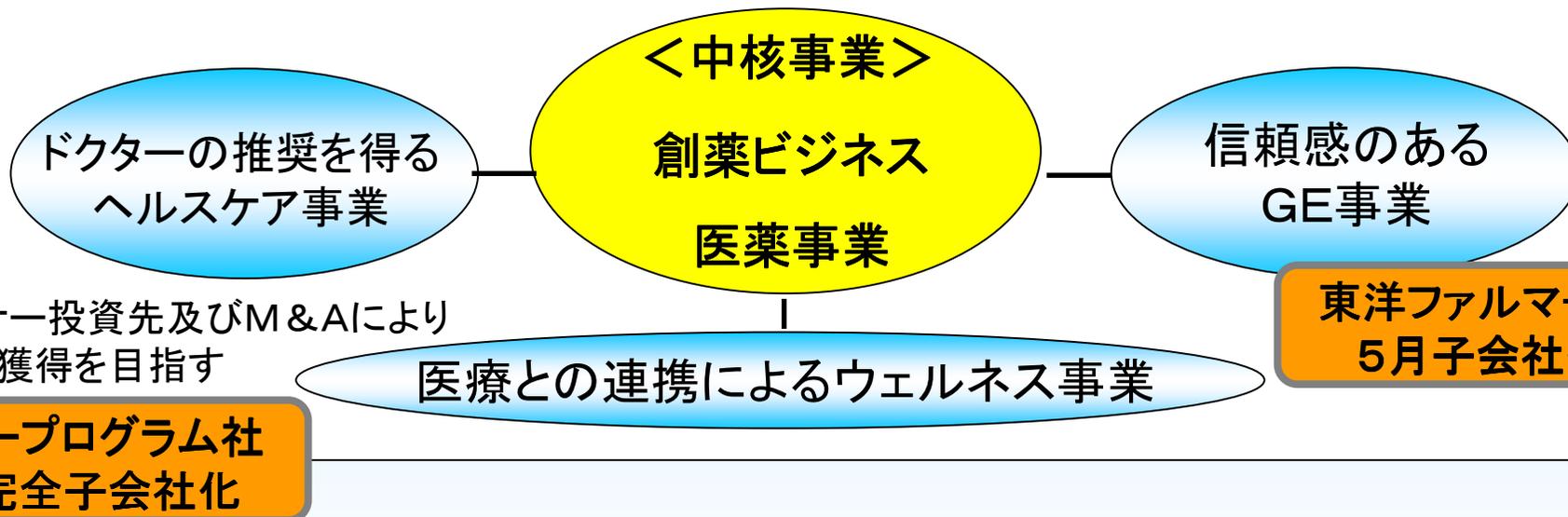
MIC一'09計画でのキョーリンの目指す企業イメージ

目指す企業像:

「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」

事業イメージ

数値目標:後期開発品 年1品目の創製



規模としては連結売上高1,000億円(目安)

資本の効率化

利益重視

数値目標:ROE 7%

* <株主還元策の強化> 配当の方針: 配当性向50%を目途

2005年度経営方針

「新たな成長基盤の創出」

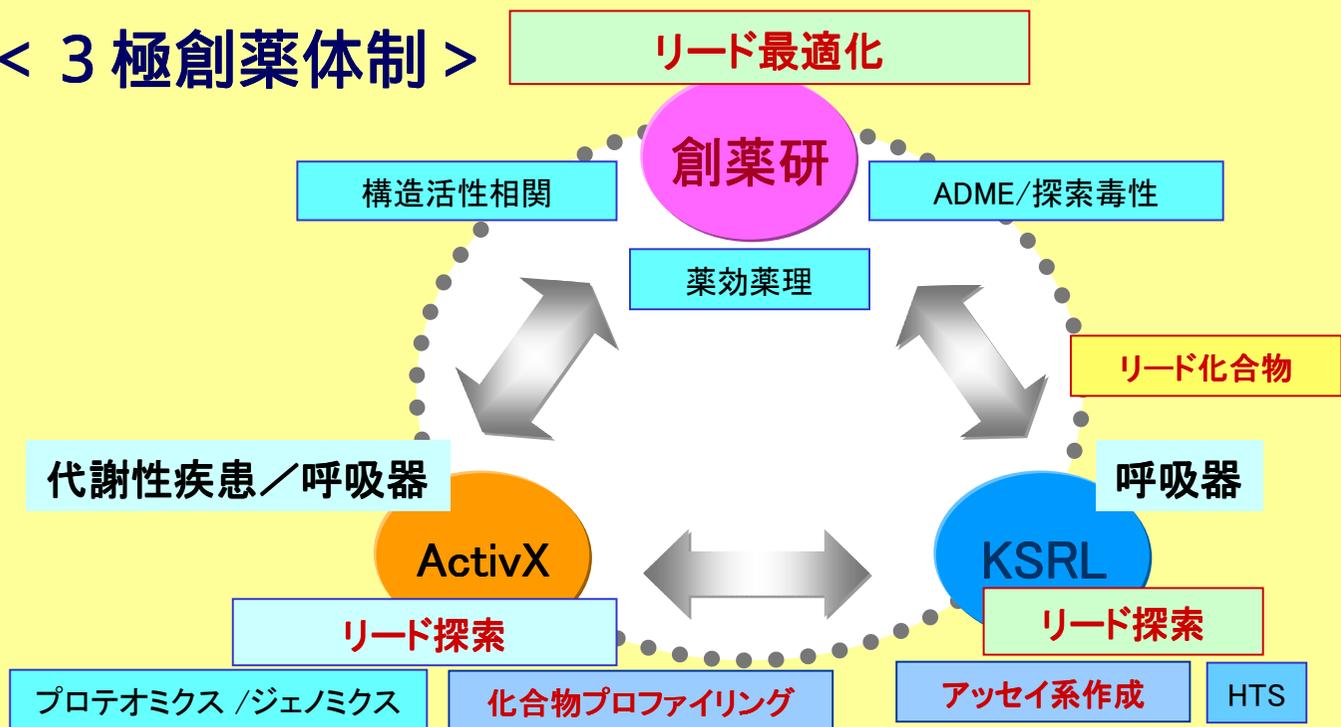
— 目指す企業像への転換と結集 —

基本項目

1. **グローバル創薬システムの確立**
2. 医薬事業においてゆるぎない競争力育成
3. 新事業領域への参入とその基盤となる事業の獲得
4. ブランド／人事制度改革の遂行

グローバル創薬システムの確立

< 3 極創薬体制 >



キョーリン 創薬グローバルネットワーク

効率的なグローバル創薬体制の構築と運用

- ① POCまでのスピードアップ
 - ・海外臨床試験の推進力の強化
- ② 体制・仕組み作り
 - ・「POC評価組織」・「海外臨床開発拠点」の設立を検討

POCプロジェクト
—2005年度—

KRP - 101
Pha

KRP - 204
(N 5984)
Pha

KRP - 104
(DPP 阻害剤)

KRP - 203
(S1P受容体
アゴニスト)

参考
DPPIV :
ジペプチジル・ペプチダーゼIV
S1P :
スフィンゴシン-1-リン酸

* POC : Proof Of Concept ヒトでの有効性と安全性の確認、Ph aまで

2005年度経営方針

「新たな成長基盤の創出」

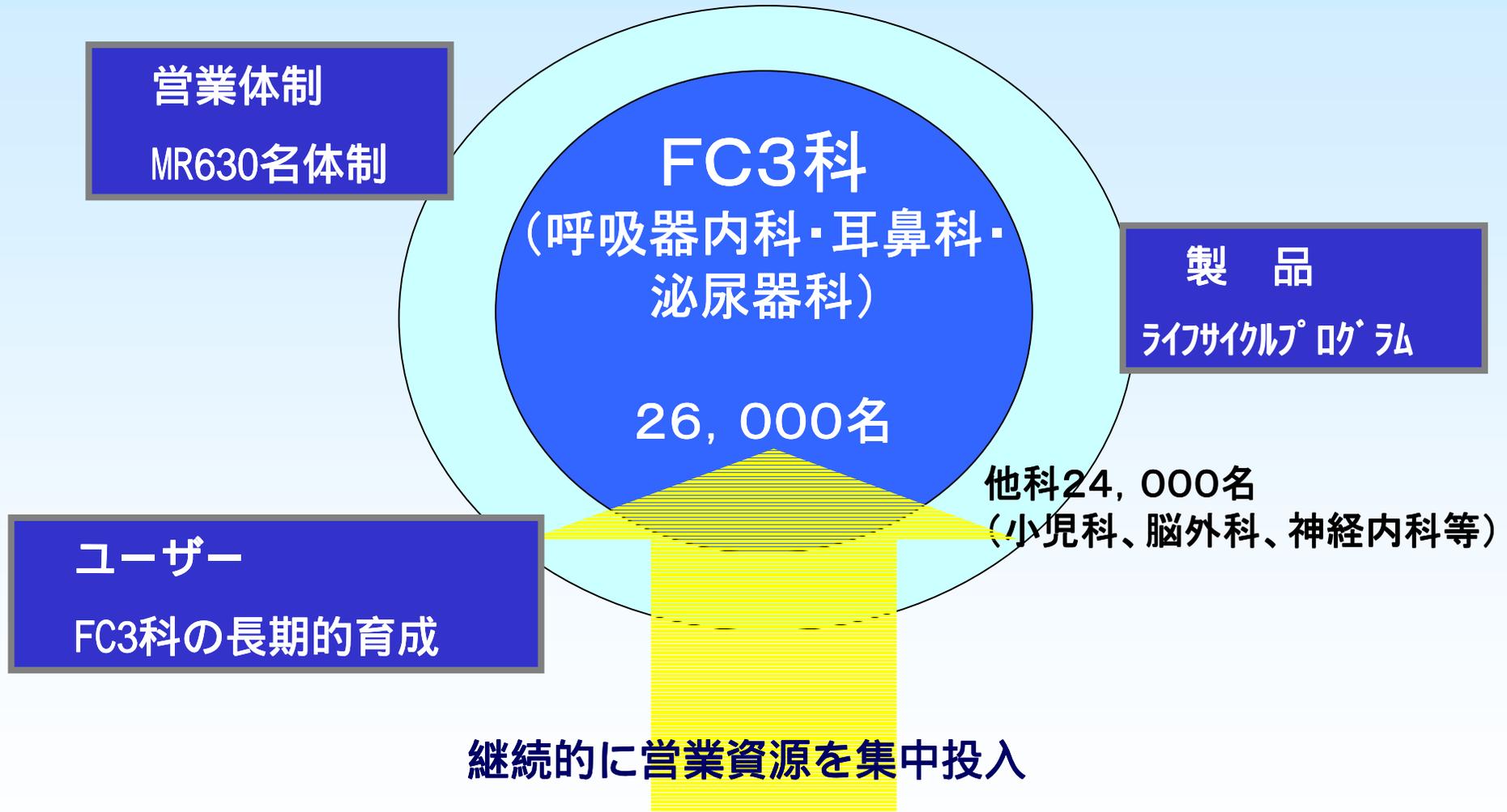
— 目指す企業像への転換と結集 —

基本項目

1. グローバル創薬システムの確立
2. 医薬事業においてゆるぎない競争力育成
3. 新事業領域への参入とその基盤となる事業の獲得
4. ブランド／人事制度改革の遂行

医薬事業においてゆるぎない競争力育成

FC戦略: 長期にわたってキョーリンを支えていただけるユーザーの育成



FC3科26,000名をコアとし50,000名を対象に
面談率;100%、処方率;100%を目指す

国内新薬医療用医薬品の状況 ①キプレス

当面の目標: シェア20%の05年度達成

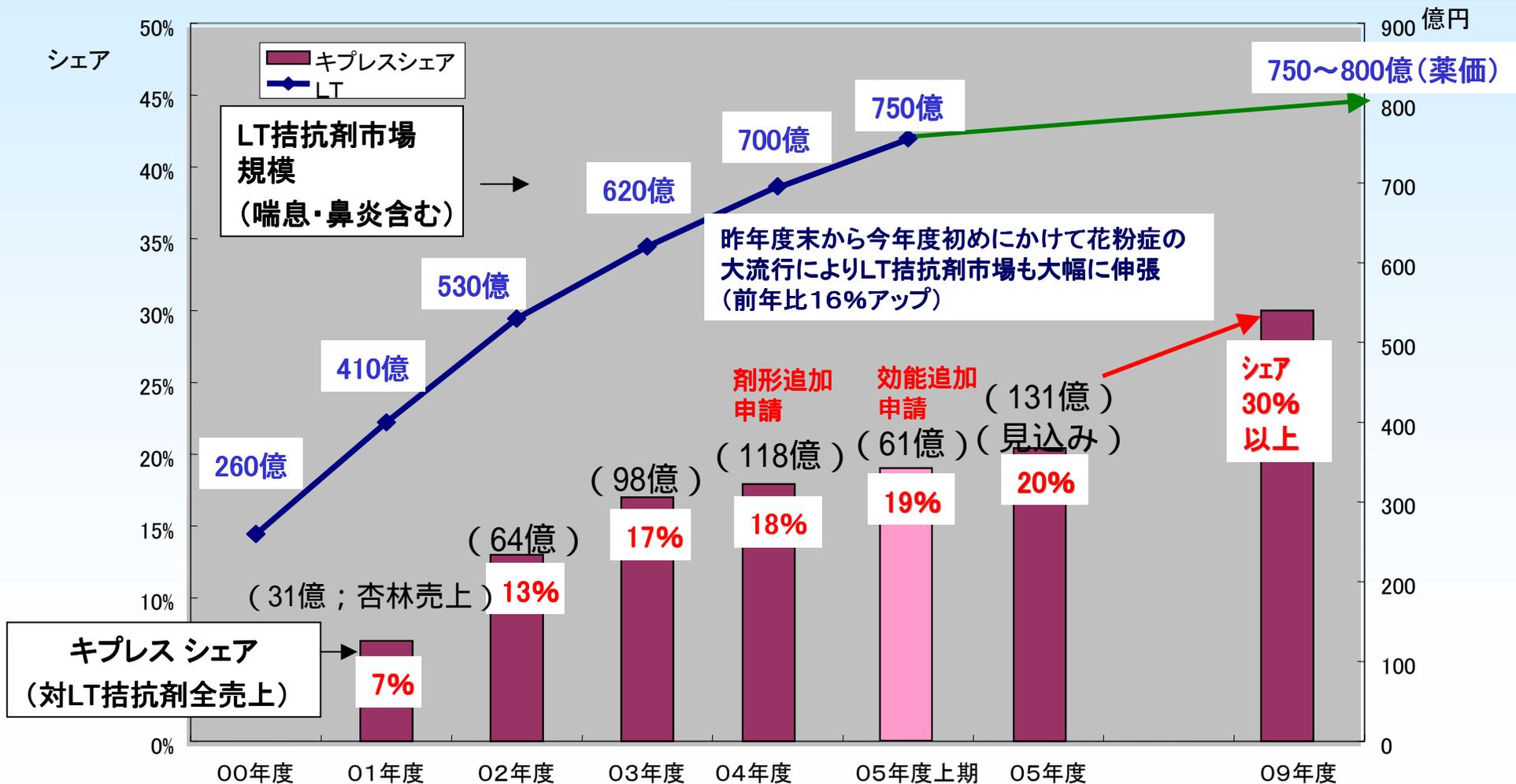
- FC戦略の推進による処方症例数の拡大
 - ・新規患者への処方
 - ・他剤の切替え

出典: キョーリン製薬

今後の対応: ライフサイクルマネジメントの推進

- 剤形追加(1~5才用細粒4mg)、効能追加(アレルギー性鼻炎)によるオン独占領域への参入とLT拮抗剤市場の拡大

細粒 約60億円 アレルギー性鼻炎 約90億円(LT拮抗剤売上)



国内新薬医療用医薬品の状況 ②ムコダイン

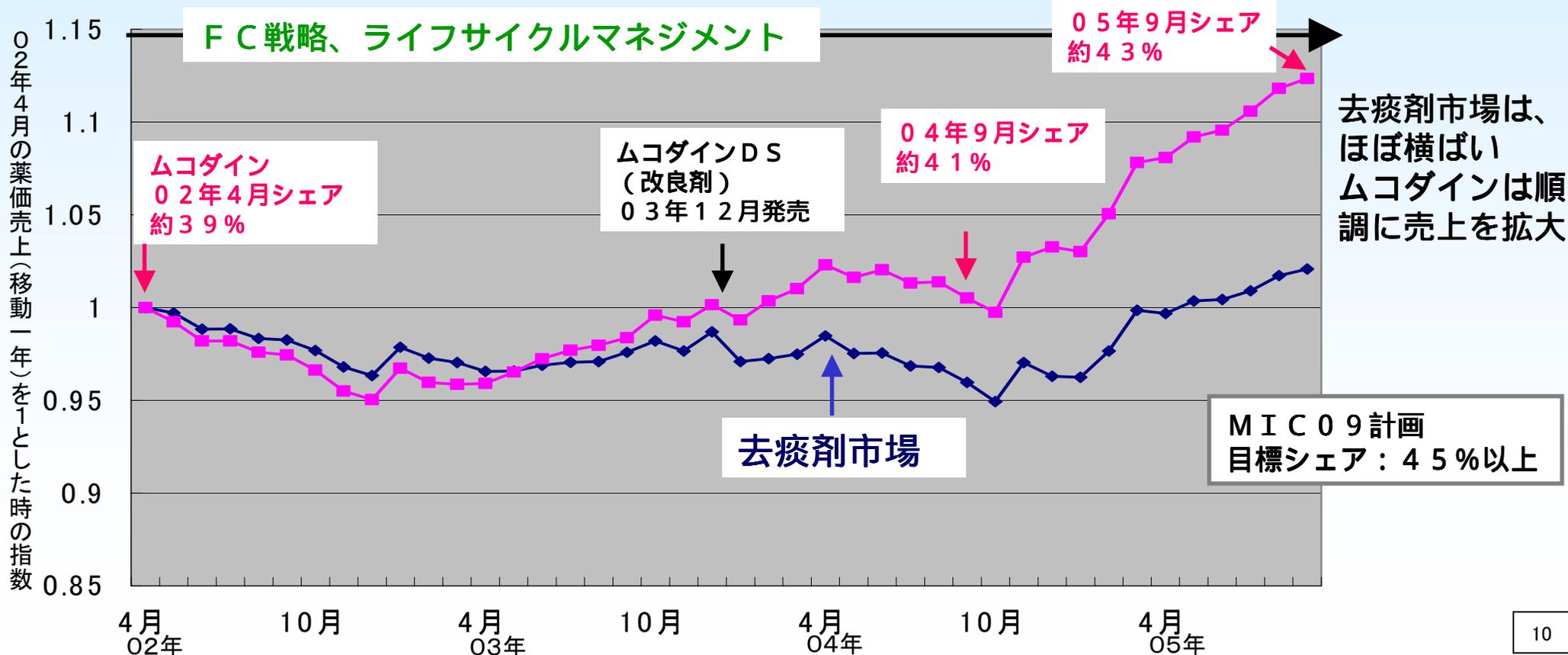
—FC(フランチャイズ・カスタマー)戦略とライフサイクルマネジメントの推進

(1)FC戦略

- 呼吸器内科、耳鼻科を中心に継続的なプロモーションを展開

(2)ライフサイクルマネジメント

- ムコダインDS(ドライシロップ)の積極的納入
- エビデンスの収集



国内新薬医療用医薬品の状況 ③ガチフロキサシン

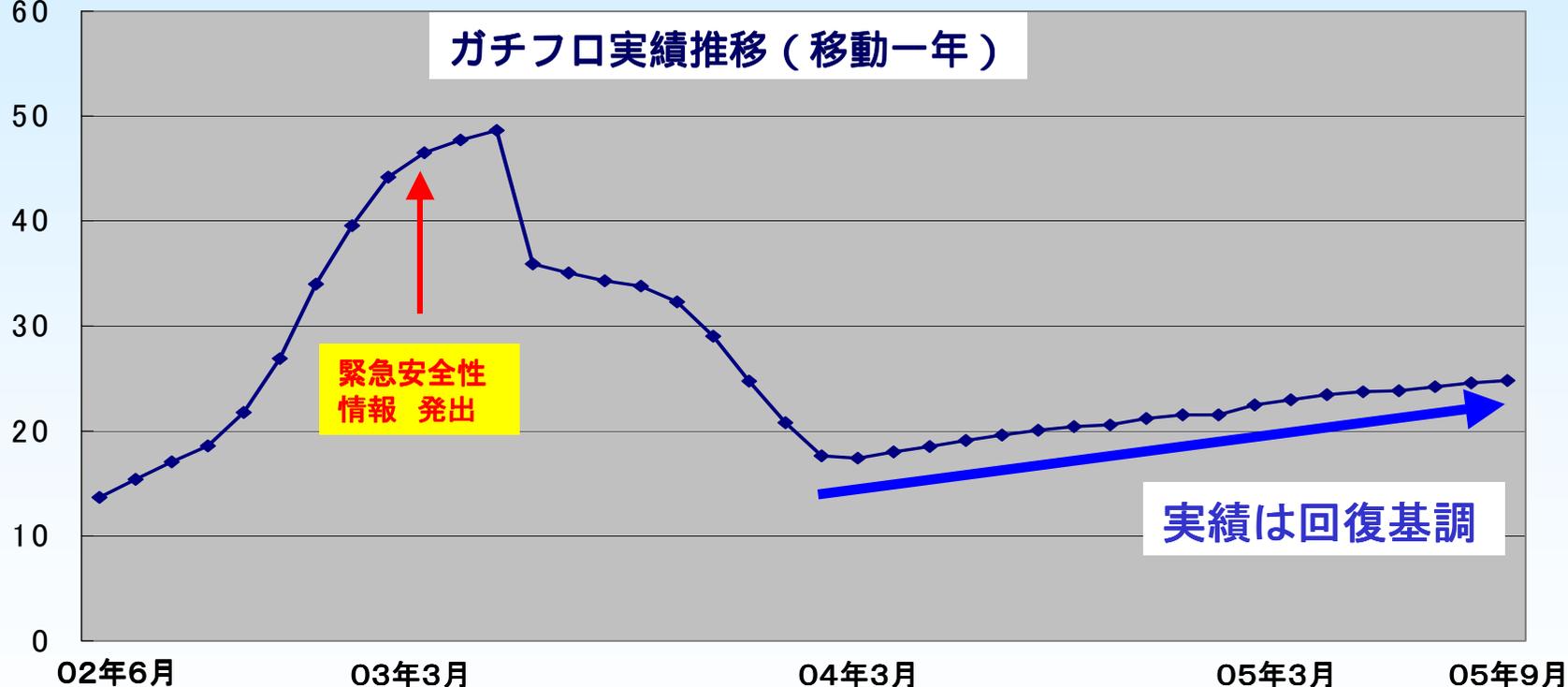
中間期のポイントと今後の対応

ガチフロ錠国内成長シナリオの再構築

呼吸器感染症（下気道）、耳鼻科、泌尿器領域でのポジショニング確保

- ・感染症オピニオンリーダーからのガチフロ有用性普及活動強化を図り、学会セミナー、講演会を展開

(億円) 60



2005年3月期		2006年3月期	
9月中間期	通期	9月中間期	通期見込み
9億円	23億円	11億円	26億円

海外新薬医療用医薬品の状況 ガチフロキサシン

中間期のポイント

1. BMS社のテクインの状況

- ・現地売りベースの実績は減少

2. アラガン社 ザイマーは堅調に推移

- ・眼科領域でトップシェア確保
- ・抗菌点眼薬市場で約25%のシェアを達成
- ・小児領域への拡大

	2002年	2003年	2004年		2005年	
			上期実績	通期実績	上期実績	通期込み
テクイン	\$ 248MM	\$ 215MM	\$ 100MM	\$ 175MM	\$ 72MM	\$ 170MM
ザイマー		\$ 30MM	\$ 35MM	\$ 74MM	\$ 46MM	\$ 86MM
杏林売上	51億円	71億円	48億円	81億円	35億円	69億円

* テクイン、ザイマーの実績は暦年、杏林実績は年度

出典：IMSデータ(テクイン、ザイマー現地売り)

2005年度経営方針

「新たな成長基盤の創出」

—目指す企業像への転換と結集—

基本項目

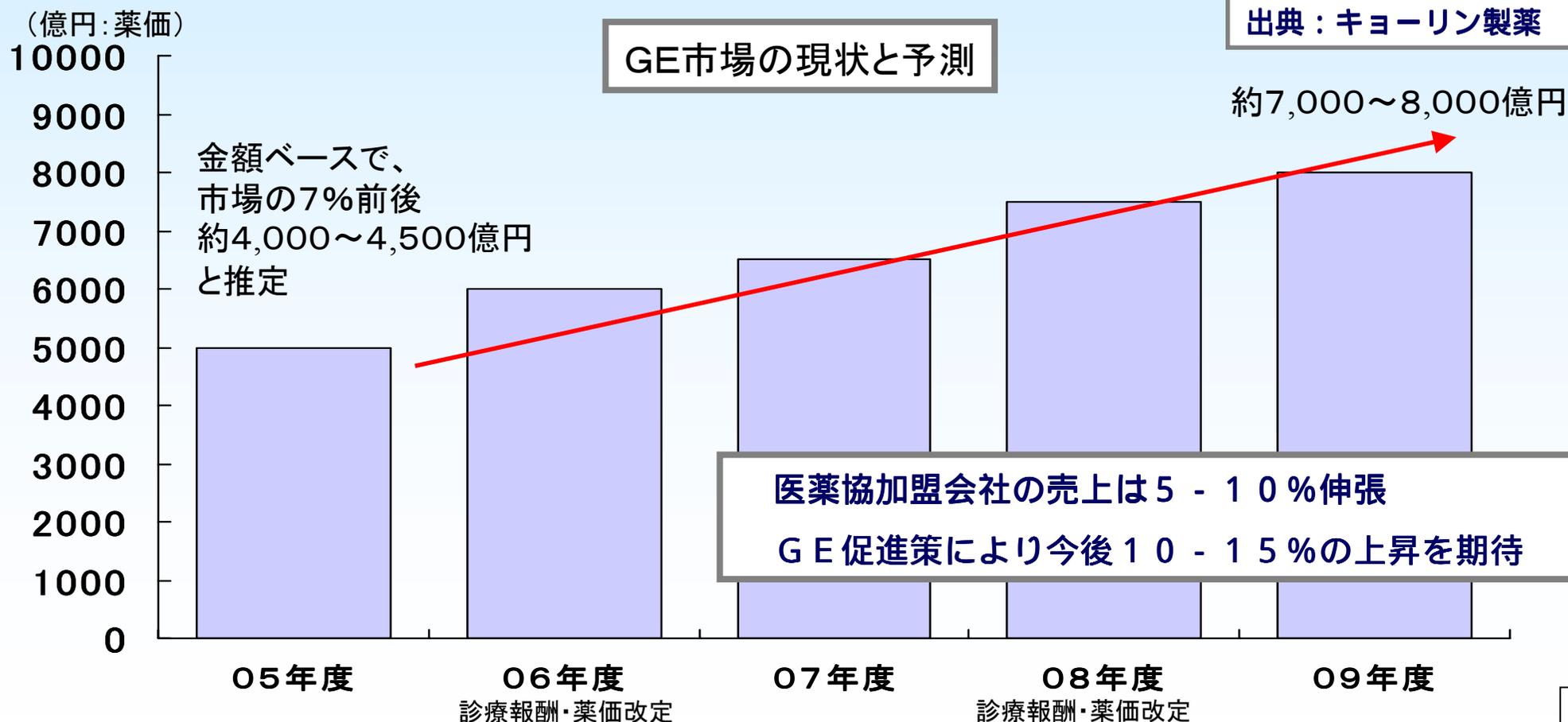
1. グローバル創薬システムの確立
2. 医薬事業においてゆるぎない競争力育成
3. **新事業領域への参入とその基盤となる事業の獲得**
4. ブランド／人事制度改革の遂行

新規事業の展開：GE事業への参入

高齢化社会の進展に伴う医療費(薬剤費)の抑制 ⇒ GEの使用拡大が一つの柱

＜GE市場拡大の追い風＞

- ・政府主導によるGE医薬品の使用促進策の展開 ※将来的には数量ベースで50%を目標
- ・GE医薬品の認知度向上 ※一般消費者の70%超がGE医薬品を認知



新規事業の展開：東洋ファルマー社とキョーリンのシナジー効果

●05年5月期業績

売上高 : 65億円
経常利益: ▲1億円
当期利益: ▲1億円

●8ヶ月決算の見込み

(05年6月～06年1月)

43億円
1億円
1億円

●当面の目標(2010年1月期)

売上高 100億円
営業利益率 10%

キョーリン製薬の支援

●R&D領域

- ・開発力強化
- ・効率的開発組織の構築

●営業領域

- ・病院取引推進
- ・販路の拡大
- ・グループ会社との併売

●生産領域

- ・キョーリン製品の製造委託
- ・工場稼働率の向上

「新しい時代に求められる
新しいGE企業」を目指す

- ・高い信頼感の醸成
- ・ニーズに応える安定供給
- ・適切な情報提供

キョーリン製薬として
経営基盤の強化を図る

主要開発品の状況

開発品一覧

導出品一覧

新規事業開発の現状

ビストナー事業ファンド

開発品一覧

(2005年11月8日現在)

*: 前回(06年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (04年10月)	Ph I 	ウリス KRP-197 (錠)	過活動膀胱 治療薬	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される	海外: LGLS社とライセンス 契約* 国内: 小野薬品工業と共同 開発・共同販売(予定)
申請 (04年7月)	(メルク社 発売中)	キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
*申請 (05年8月)	(メルク社 発売中)	キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人: アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状 (鼻閉、鼻漏、くしゃみ)の改善と共に、眠気などの 副作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発
Ph III (04年1月)	(ガデルマ社 発売中)	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	マルホと共同開発
Ph II (04年10月)	Ph II (04年10月)	KRP-204 (N-5984) (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬。 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、 肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
Ph II (05年3月)	(大日本住友 Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより 細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性 神経障害を改善する	大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ)
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	糖尿病治療剤	自社	PPARαのagonist。中性脂肪等脂質代謝改善 作用に加えて、糖尿病に対する有効性が期待さ れる	
	Ph I 準備中	* KRP-104	糖尿病	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解 を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用 の発現が少ない糖尿病治療が期待される	
	Ph I 準備中	* KRP-203	臓器移植、炎症	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する 免疫抑制剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全 性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	

開発品一覧 (2005年11月8日現在)

導出品の状況

製品名・開発コード	導出先・共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	—	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	Ph I (05年4月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	*Ph II (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月)
KCA-757	米国 メディシノバ社	Ph II (気管支喘息: 05年1月) (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 独占的な開発、販売権を供与

主なビストナー投資先一覧

1. ビストナー事業ファンドの状況

- ・設立 2000年9月
- ・出資額 50億円(既出資額 40億円 既投資額 26億円)
- ・対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

合計24件投資 26億円

領域	
<医薬品領域> ゲノム創薬など	4件
<医療領域> 代替医療 再生医療 ITなど	8件
<介護領域> 施設経営 在宅介護 関連製品など	4件
<健康領域> 食品 化粧品など	8件

セーフテック

- ①15百万円
- ②無臭大豆粉の製造販売等

健康食品領域

Dr'sコスメ領域

ドクタープログラム

- ①501百万円
- ②スキンケア用品の開発・販売



創薬関連 医薬品

- ①売上高
- ②主な事業内容

医療電子精工

- ①-
- ②C型肝炎
温熱治療装置開発

医療関連 (介護・診断・機器・サービス)

バイオセレント

- ①7百万円
- ②バイオ活用産廃分解等

サンバイオ

- ①209百万円
- ②介護用トイレ等事業化

JMA

- ①-
- ②医療施設・機器賃貸

研究開発プロジェクト:KRP-101 =PPAR α アゴニスト=

POC試験結果(海外 Ph IIa 試験)

- ・フィブレート系薬剤とほぼ同等の脂質代謝改善作用を確認
【血清中 TG, T-Cho, HDL, LDL値の改善】
- ・Phase IIa 試験結果の解析および新たな基礎試験結果から
KRP-101の糖尿病治療薬としての可能性が示唆され、
新たなPOC試験の実施を検討中

研究開発プロジェクト: KRP-101 開発コンセプト

新たな開発コンセプト

これまでの開発コンセプト

Ph2a試験解析データ
(対象:高脂血症患者)

有効性を確認

高脂血症治療
(フィブラート系と同等)

層別解析

+

基礎試験データ

糖尿病治療
としての可能性

体重増加:なし

浮腫:なし

既存糖尿病薬(SU剤・グリタゾン系薬剤)の懸念材料

新たなPOC試験の実施を検討

研究開発プロジェクト: KRP-204 (N-5984) ＝選択的 β 3 受容体アゴニスト＝

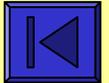
代謝性疾患に対するPOC試験結果 (Ph IIa 試験)

【肥満 (海外 Ph IIa 試験)】

- ・12週間投与により、明確な内臓脂肪面積の減少が確認された
- ・その他の肥満関連のバイオマーカーにも改善傾向が認められた
- ・従来の β 3 受容体アゴニストで認められた副作用 (動悸、振戦など) は見られたが軽度で投与を継続できるレベルであった

【糖尿病 (国内 Ph IIa 試験)】

- ・今回検討した用量および投与期間では明確な血糖低下作用は確認できなかった
- ・本試験においては、心への影響などを含む副作用は認められなかった



ウリトスの上市戦略

2005年5月決算説明会で説明

◆ウリトスの承認時期（ベストシナリオ）

05年度中の承認～06年度の上市を目指す

◆ウリトスの特長

長期間安定した有効性を示し、口渇が少ない薬剤

上市時期見通しについて

現状の審査状況からすると、承認時期の遅れが予想される
見通しが明らかになった時点で情報開示させていただく予定



ドクタープログラム社の状況

●ドクタープログラムへの投資

- ・2001年10月～ : ビストナーファンドより投資(発行株式数の80%を保有)
- ・2005年 6月 : 100%子会社化(連結対象)

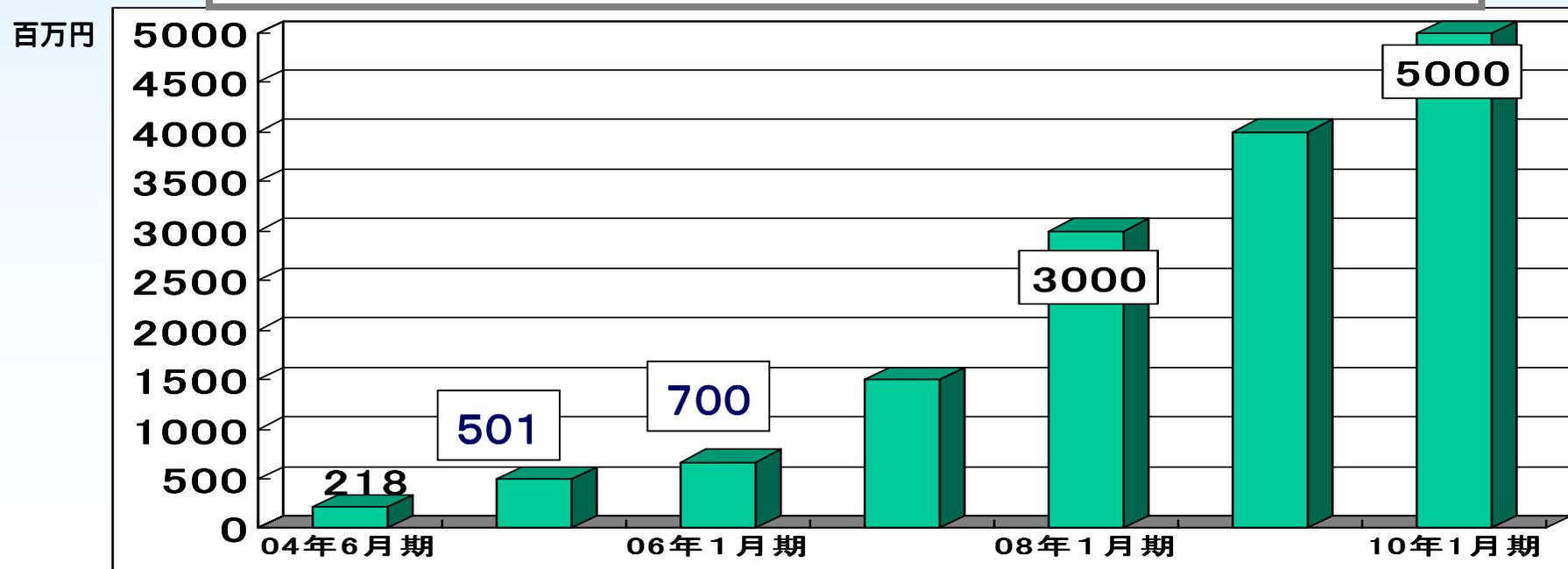
●ドクタープログラムの特徴

- 製 品 : ブランド名「トリニティーライン」
- 販売チャネル : 通信販売中心(一部店舗販売あり)
- プロモーション : 新聞・雑誌広告中心

* 製薬系技術を応用することで高機能性を有する化粧品の開発・販売を実施

キョーリン  : 資金・人的・技術面での直接支援

広告などへの積極投資による新規顧客獲得により、早期に売上拡大を図る



(7ヶ月決算見込み)



2005年9月中間期 決算概要

財務諸表の概況

損益計算書の概要：連結

(単位：百万円)

＜連結＞	04年9月中間期		05年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	31,056	100.0%	33,511	100.0%	7.9%	2,455
売上原価	11,311	36.4%	11,450	34.2%	1.3%	138
売上総利益	19,744	63.6%	22,061	65.8%	11.7%	2,316
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	18,149 (5,972)	58.5% 19.2%	19,655 (6,001)	58.6% 17.9%	8.3% (0.5%)	1,505 (29)
営業利益	1,595	5.1%	2,406	7.2%	50.8%	810
営業外収益	477	1.6%	451	1.3%	▲5.5%	▲26
営業外費用	98	0.3%	103	0.3%	5.8%	5
経常利益	1,974	6.4%	2,753	8.2%	39.4%	778
特別利益	239	0.7%	53	0.1%	▲77.6%	▲185
特別損失	191	0.6%	75	0.2%	▲60.4%	▲115
税金等調整前 中間純利益	2,022	6.5%	2,731	8.1%	35.0%	708
法人税・住民税 及び事業税	777	2.5%	104	0.3%	▲86.6%	▲672
法人税等調整額	▲61	▲0.2%	1,137	3.4%	—	1,199
中間純利益	1,307	4.2%	1,459	4.4%	11.6%	152

＜適応範囲及び持分法の適用について＞

連結子会社8社：(株)杏文堂 (株)ビストナー
 ビストナー壱号投資事業有限責任組合
 Kyorin USA, Inc
 Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences, Inc.
 東洋ファルマー株式会社
 ドクタープログラム株式会社

持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株)
 日本理化学薬品(株)

	04/9	05/9 (億円)
売上高	311	335
(医薬品事業)	304	316
<国内新薬医療用>	237	261
= 製品別売上 =		
ムコダイン	77	85
バクシダール	3	3
ケタス	32	32
アブレース	13	12
ロカルトロール	12	11
ペンタサ	31	36
キプレス	52	61
ガチフロ	9	11
<海外新薬医療用>	52	40
ノルフロキサシン	2	2
ガチフロキサシン	48	35
<ヘルスケア他>	16	15
うち ミルトン	12	11
(関連事業等)	6	19

損益計算書の概要：連結 -

(単位:百万円)

<連結>	04年9月中間期		05年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	31,056	100.0%	33,511	100.0%	7.9%	2,455
国内新薬医療用	23,686	76.3%	26,079	77.8%	10.1%	2,393
海外新薬医療用	5,172	16.7%	4,043	12.1%	▲21.8%	▲1,128
ヘルスケア他	1,564	5.0%	1,486	4.4%	▲5.0%	▲77
関連事業等	632	2.0%	1,901	5.7%	200.4%	1,268

<当期のポイント>

	対前期	対見込み
売上高	33,511百万円(+25億円)	(+14億円)
国内新薬医療用	26,079百万円(+24億円)	(+10億円)
=プラス要因=	前期実績	当期実績
・キプレス	52	61(+9)
・ムコダイン	77	85(+8)
・ペンタサ	31	36(+5)
・ガチフロ	9	11(+2)
海外新薬医療用	4,043百万円(-11億円)	(+6億円)
=マイナス要因=		
・ガチフロ	48	35(-13)
*BMS社「テクイン」バルクが前年を下回る		
*アラガン社 点眼剤「ザイマー」の続伸		
ヘルスケア他	1,486百万円(-1億円)	(-2億円)
・ミルトン	12	11(-1)
関連事業等	1,902百万円(+13億円)	(±0億円)

損益計算書の概要：連結 -

(単位：百万円)

<連結>	04年9月中間期		05年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	31,056	100.0%	33,511	100.0%	7.9%	2,455
売上原価	11,311	36.4%	11,450	34.2%	1.2%	138
売上総利益	19,744	63.6%	22,061	65.8%	11.7%	2,316
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	18,149 (5,972)	58.5% 19.2%	19,655 (6,001)	58.6% 17.9%	8.3% (0.5%)	1,505 (29)
営業利益	1,595	5.1%	2,406	7.2%	50.8%	810
営業外収益	477	1.6%	451	1.3%	▲5.5%	▲26
営業外費用	98	0.3%	103	0.3%	5.8%	5
経常利益	1,974	6.4%	2,753	8.2%	39.4%	778
特別利益	239	0.7%	53	0.1%	▲77.6%	▲185
特別損失	191	0.6%	75	0.2%	▲60.4%	▲115
税金等調整前 中間純利益	2,022	6.5%	2,731	8.1%	35.0%	708
法人税・住民税 及び事業税	777	2.5%	104	0.3%	▲86.6%	▲672
法人税等調整額	▲61	▲0.2%	1,137	3.4%	—	1,199
中間純利益	1,307	4.2%	1,459	4.4%	11.6%	152

<当期のポイント>

■ 売上原価 11,450百万円 (+1億円)
 ●売上原価率 36.4% → 34.2% (▲2.2ポイント)
 【原価率低下要因】
 ・工場集約に伴う野木工場の稼働率上昇

■ 研究開発費 6,001百万円 (±0億円)
 ●研究開発費率 19.2% → 17.9% (▲1.3ポイント)

■ 販管費(除R&D費) 13,653百万円 (+15億円)
 ●販管費率 39.2% → 40.7% (+1.5ポイント)
 ・国内売上増加に伴う販売費の増加と
 一般経費の増加

■ 営業利益 2,406百万円 (+8億円)
 ●営業利益率 5.1% → 7.2% (+2.1ポイント)

■ 経常利益 2,753百万円 (+8億円)
 ●経常利益率 6.4% → 8.2% (+1.8ポイント)

■ 中間純利益 1,459百万円 (+2億円)

貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)

<連結>	04年9月中間期		05年3月期		05年9月中間期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	72,539	61.2%	51,782	47.4%	55,284	47.4%	3,501
現金および預金	24,969		8,760		12,030		
受取手形及び売掛金	19,569		24,655		23,529		
有価証券	13,523		3,010		611		
棚卸資産	9,464		10,152		15,553		
その他流動資産	5,012		5,202		3,559		
固定資産	46,018	38.8%	57,452	52.6%	61,282	52.6%	3,830
有形固定資産	16,218		16,997		19,367		
無形固定資産	4,690		5,571		6,245		
投資その他	25,110		34,883		35,669		
流動負債	11,782	10.0%	11,220	10.3%	16,404	14.1%	5,184
支払手形及び買掛金	4,636		5,827		8,666		
その他流動負債	7,145		5,392		7,738		
固定負債	15,316	12.9%	7,470	6.8%	7,579	6.5%	109
負債合計	27,098	22.9%	18,690	17.1%	23,984	20.6%	5,293
少数株主持分	—	—	—	—	1,098	0.9%	1,098
資本金	4,317	3.6%	4,317	3.9%	4,317	3.7%	
資本剰余金	949	0.8%	949	0.9%	949	0.8%	
利益剰余金	105,257	88.8%	105,294	96.4%	105,989	90.9%	
その他有価証券評価差額金	1,597	1.3%	713	0.7%	964	0.8%	
為替換算調整勘定	▲2	▲0.0%	▲6	▲0.0%	15	0.0%	
自己株式	▲20,659	▲17.4%	▲20,724	▲19.0%	▲20,752	▲17.7%	
資本合計	91,460	77.1%	90,544	82.9%	91,483	78.5%	939
総資産合計	118,558	100.0%	109,234	100.0%	116,566	100.0%	7,332

<当期のポイント>

- 流動資産:3,501百万円増
 - ・現金および預金の増加 (3,269百万円増)
 - ・受取手形及び売掛金の減少 (1,125百万円減)
 - ・有価証券の減少 (2,399百万円減)
 - ・棚卸資産の増加 (5,401百万円増)
 - ・その他流動資産 (1,643百万円減)
- 固定資産:3,830百万円増
 - ・有形固定資産の増加 (2,370百万円増)
 - ・無形固定資産の増加 (673百万円増)
 - ・投資その他の増加 (786百万円増)
- 流動負債:5,184百万円増
 - ・支払手形及び買掛金の増加 (2,839百万円増)
 - ・その他流動負債の増加 (2,345百万円増)
- 固定負債: 109百万円増
- 資本合計: 939百万円増
 - ・利益剰余金の増加 (694百万円増)

研究開発・設備投資・減価償却の状況

(単位:百万円)

< 通 期 >

< 半 期 >	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期	05年9月期		06年3月期 (見込み)
					実 績	前同比	
研究開発費	2,954	3,130	3,577	5,972	6,001	0.5%	10,300
設備投資(計上ベース)	950	2,448	3,564	3,281	982	▲70.1%	4,300
減価償却費	1,518	1,597	1,655	1,789	1,660	▲7.2%	4,000

< 設備投資の状況 (実績 / 計画) >

	05年3月期	06年3月期	
	実 績	中間実績	通期計画
(実績)			
能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)	53億円		
管理・販売設備	6億円		
研究用設備	3億円		
(実績 / 計画)			
能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)		8億円	3.8億円
管理・販売設備			3億円
研究用設備		1億円	2億円

主要製品売上の状況

(単位:億円)

	02年9月期	03年9月期	04年9月期	05年9月期		05年3月期 実績	06年3月期 (見込み)	
				実績	前同比			
国内新薬医療用	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	25	43	52	61	17.8%	118	131
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	19	6	9	11	20.8%	23	26
	ムコダイン (去痰剤)	74	78	77	85	11.2%	190	192
	バクシダール (合成抗菌剤)	6	4	3	3	▲18.8%	7	6
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	36	35	32	32	▲0.2%	66	64
	アプレース (抗潰瘍剤)	18	15	13	12	▲8.2%	26	23
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	16	14	12	11	▲7.6%	24	21
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	26	30	31	36	14.8%	64	71
海外新薬医療用	海外売上合計	31	36	51	40	▲21.8%	88	78
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	19	30	48	35	▲25.9%	80	69
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	8	6	2	2	6.6%	4	3
	海外売上比率	10.0%	11.9%	16.7%	12.6%		13.3%	11.2%
ヘルスケア他	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	16	14	12	11	▲8.8%	23	22

自社品比率	83.1%	82.0%	81.4%	79.3%	—	82.2%	82.8%	29
-------	-------	-------	-------	-------	---	-------	-------	----

主な業績項目の推移：連結

< 半 期 >	02年9月期	03年9月期	04年9月期	05年9月期
売上高 (輸出高)	31,878 (3,191)	30,831 (3,672)	31,056 (5,172)	33,511 (4,043)
売上原価 (売上原価率)%	9,848 (30.9%)	10,427 (33.8%)	11,311 (36.4%)	11,450 (34.2%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	17,222 (54.0%)	17,015 (55.2%)	18,149 (58.5%)	19,655 (58.6%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	3,130 (9.8%)	3,577 (11.6%)	5,972 (19.2%)	6,001 (17.9%)
営業利益 (営業利益率)%	4,806 (15.1%)	3,387 (11.0%)	1,595 (5.1%)	2,406 (7.2%)
経常利益 (経常利益率)%	4,904 (15.4%)	3,336 (10.8%)	1,974 (6.4%)	2,753 (8.2%)
中間純利益 (中間純利益率)%	1,555 (4.9%)	4,643 (15.1%)	1,307 (4.2%)	1,459 (4.4%)
一株当たり当期利益(円)	18.05円	53.93円	17.59円	19.65円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	135,017	138,980	118,558	116,566
株主資本	103,228	109,504	91,460	91,483
一株当たり株主資本(円)	1,197円	1,272円	1,230円	1,231円
株主資本利益率%	1.5%	4.3%	1.4%	1.6%
株主資本比率%	76.5%	78.8%	77.1%	78.5%
人員(人)	1,757人	1,775	1,700	1,947
設備投資	2,448	3,565	3,281	982
減価償却費	1,603	1,660	1,794	1,660

< 通 期 > (単位:百万円)

05年3月期	06年3月期 (見込み)
66,296 (8,838)	72,200 (7,800)
22,682 (34.2%)	
37,747 (57.0%)	
12,698 (19.2%)	10,300 (14.3%)
5,866 (8.8%)	6,600 (9.1%)
6,430 (9.7%)	7,200 (10.0%)
2,013 (3.1%)	3,700 (5.1%)
26.48円	49.82円
4,317	4,317
109,234	
90,544	
1,218.22円	
2.2%	
82.9%	
1,703人	
6,172	4,300
3,894	4,000

損益計算書の概要：単体

(単位：百万円)

＜単体＞	04年9月中間期		05年9月中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	30,423	100.0%	31,609	100.0%	3.9%	1,186
売上原価	10,830	35.6%	10,100	32.0%	▲6.7%	▲730
売上総利益	19,592	64.4%	21,509	68.0%	9.8%	1,916
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	17,999 (5,972)	59.2% 19.6%	19,282 (5,979)	61.0% 18.9%	7.1% (0.1%)	1,283 (6)
営業利益	1,593	5.2%	2,226	7.0%	39.8%	633
営業外収益	341	1.1%	328	1.1%	▲3.8%	▲12
営業外費用	144	0.4%	177	0.6%	23.0%	33
経常利益	1,790	5.9%	2,378	7.5%	32.8%	587
特別利益	182	0.6%	32	0.1%	▲82.3%	▲150
特別損失	191	0.6%	75	0.2%	▲60.5%	▲115
税引前中間純利益	1,782	5.9%	2,335	7.4%	31.0%	552
法人税・住民税 及び事業税	746	2.5%	35	0.1%	▲95.2%	▲710
法人税等調整額	▲78	▲0.3%	1,121	3.6%	—	1,199
中間純利益	1,114	3.7%	1,178	3.7%	5.7%	63

＜当期のポイント＞

- 売上原価 10,100百万円 (▲7億円)
●売上原価率 35.6%→32.0% (▲3.6ポイント)
- 研究開発費 5,979百万円 (±0億円)
●研究開発費率19.6%→18.9% (▲0.7ポイント)
- 販管費(除R&D費) 13,303百万円 (+13億円)
●販管費率 39.5%→42.1% (+2.6ポイント)
・国内売上増加に伴う販売費の増加
および一般経費の増加
- 営業利益 2,226百万円 (+6億円)
●営業利益率 5.2%→7.0% (+1.8ポイント)
- 経常利益 2,378百万円 (+6億円)
●経常利益率 5.9%→7.5% (+1.6ポイント)
- 中間純利益 1,178百万円 (+1億円)

貸借対照表の概要：単体

(単位:百万円)

<単体>	04年9月中間期		05年3月期		05年9月中間期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	70,109	60.1%	49,096	46.2%	46,454	43.4%	▲2,641
現金および預金	23,001		6,823		8,889		
受取手形	434		251		-		
売掛金	18,842		23,955		20,320		
有価証券	13,411		2,899		499		
棚卸資産	9,454		10,181		13,896		
その他流動資産	4,964		4,986		2,847		
固定資産	46,542	39.9%	57,168	53.8%	60,559	56.6%	3,391
有形固定資産	16,187		16,623		16,543		
無形固定資産	4,687		5,569		5,067		
投資その他	25,667		34,975		38,949		
流動負債	11,431	9.8%	10,082	9.5%	11,848	11.1%	1,766
支払手形	1,055		1,236		1,334		
買掛金	3,086		4,083		4,739		
その他流動負債	7,290		4,762		5,775		
固定負債	15,262	13.1%	7,342	6.9%	5,648	5.3%	▲1,694
負債合計	26,694	22.9%	17,425	16.4%	17,497	16.4%	72
資本金	4,317	3.7%	4,317	4.1%	4,317	4.0%	
資本剰余金	949	0.8%	949	0.9%	949	0.9%	
利益剰余金	103,793	89.0%	103,625	97.5%	104,095	97.3%	
その他有価証券評価差額金	1,552	1.3%	667	0.6%	903	0.8%	
自己株式	▲20,655	▲17.7%	▲20,720	▲19.5%	▲20,748	▲19.4%	
資本合計	89,957	77.1%	88,839	83.6%	89,516	83.6%	677
総資産合計	116,652	100.0%	106,264	100.0%	107,014	100.0%	749

<当期のポイント>

- 流動資産: 2,641百万円減
 - ・現金及び預金の増加 (2,066百万円増)
 - ・売掛金の減少 (3,634百万円減)
 - ・有価証券の減少 (2,399百万円減)
 - ・棚卸資産の増加 (3,715百万円増)
 - ・その他流動資産の減少 (2,139百万円減)
- 固定資産: 3,391百万円増
 - ・無形固定資産の減少 (502百万円減)
 - ・投資その他の増加 (3,974百万円増)
- 流動負債: 1,766百万円増
 - ・支払手形及び買掛金の増加 (753百万円増)
 - ・その他流動負債の増加 (1,012百万円増)
- 固定負債: 1,694百万円減
- 資本合計: 677百万円増
 - ・利益剰余金の増加 (469百万円増)

主な業績項目の推移：単体

< 通 期 > (単位:百万円)

< 半 期 >	01年9月期	02年9月期	03年9月期	04年9月期	05年9月期	05年3月期	06年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	28,695 (5,984)	31,164 (3,191)	30,137 (3,672)	30,423 (5,172)	31,609 (4,043)	64,938 (8,838)	65,500 (7,800)
売上原価 (売上原価率)%	9,169 (32.0%)	9,315 (29.9%)	9,899 (32.8%)	10,830 (35.6%)	10,100 (32.0%)	21,653 (33.3%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	15,743 (54.9%)	17,109 (54.9%)	16,854 (55.9%)	17,999 (59.2%)	19,282 (61.0%)	37,373 (57.6%)	
うち研究開発費 (研究開発费率)%	2,954 (10.3%)	3,130 (10.0%)	3,577 (11.9%)	5,972 (19.6%)	5,979 (18.9%)	12,698 (19.6%)	10,200 (15.6%)
営業利益 (営業利益率)%	3,788 (13.2%)	4,739 (15.2%)	3,383 (11.3%)	1,593 (5.2%)	2,226 (7.0%)	5,911 (9.1%)	6,600 (10.1%)
経常利益 (経常利益率)%	3,874 (13.5%)	4,626 (14.8%)	3,291 (11.0%)	1,790 (5.9%)	2,378 (7.5%)	5,723 (8.8%)	6,700 (10.2%)
中間純利益 (中間純利益率)%	867 (3.0%)	1,319 (4.2%)	4,614 (15.3%)	1,114 (3.7%)	1,178 (3.7%)	1,615 (2.5%)	3,400 (5.2%)
一株当たり当期利益(円)	15.07円	15.31円	53.60円	14.99円	15.86円	21.19円	45.78円
資本金	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	126,829	133,696	137,391	116,652	107,014	106,264	
株主資本	99,791	102,355	108,337	89,957	89,516	88,839	
一株当たり株主資本(円)	1,733円	1,187円	1,258円	1,210円	1,205円	1,195.26円	
株主資本利益率%	0.9%	1.3%	4.3%	1.2%	1.3%	1.8%	
株主資本比率%	78.7%	76.5%	78.9%	77.1%	83.6%	83.6%	
人員(人)	1,692人	1,695人	1,717	1,646	1,633	1,619人	
設備投資	950	2,448	3,564	3,281	962	6,171	4,200
減価償却費	1,518	1,597	1,655	1,789	1,553	3,883	3,800